

1. 局の役割と重点目標

局の役割

教育委員会は、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を備えた「生きる力」にあふれた子供の育成を基本に、家庭・地域、校種間、教師同士のつながりを築き、子供の育ちと学びを支えるとともに、安全・安心な学校生活が送れるよう、教育環境の整備充実に努めます。

局の重点目標

学校教育については、体験活動を通じた学習やICTの積極的な活用を進め、主体的かつ協働的な学びの充実を図ります。また、不登校対策では、教育支援センター「あすなろ」の充実に加え、オンライン支援など、個々のニーズに応じた柔軟な支援に取組むとともに、学校における校内サポートルームの設置を進めます。さらに、特別支援教育では、インクルーシブ教育システムの構築に向け、支援員や協力員、看護師など人材配置の適正化を図るとともに、関係部局と連携した通学支援が可能となるよう、引き続き検討します。

全ての児童生徒が、安全で安心して学校生活を送れるよう、老朽校舎の改修やトイレの洋式化など学校施設の環境改善を計画的に進めます。また、放課後に自由で自主的な活動ができる「放課後キッズルーム事業」を地域と連携し、未実施の小学校への導入に努めます。

2. 令和6年度の重点事業

事業名称	事業内容
特別支援教育（インクルーシブ教育システム構築）の推進	基礎的環境整備（支援に関わる人員等）の適正化を図るとともに、高度な医療的ケアにも対応した安心・安全な医療的ケア・通学体制などの整備を進めます。
不登校児童生徒支援事業	不登校児童生徒の社会的自立を目指し、常設及びサテライト型の教育支援センターにおいて、カリキュラムの工夫やオンラインの活用を踏まえた支援の充実を図ります。
学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備	令和8年度からの休日の部活動の地域移行を目指し、本市におけるスキーム作り、運営体制の整備、各種課題の整理等の準備を進めます。
放課後キッズルーム事業	地域の方々による見守りのもと子供たちの社会性や協調性を育むため、放課後等における小学校の教室や運動場等を活用し、子供たちの自由で安全な遊び場や学びの場を提供します。 令和10年度における全校実施に向け事業の拡充に努めます。（令和6年度は31校区で実施）
学校施設環境改善事業	「西宮市学校施設長寿命化計画」に基づく長寿命化改修工事に合わせてトイレの全面改修に取り組むとともに、並行して洋式便器化を推進します。（令和6年度の洋式便器率見込 62.7%） また、熱中症対策など教育環境の改善、避難所としての防災機能強化、地域スポーツの利用促進を目的に、全ての市立学校体育館に空調設備を整備します。（令和6年度は11校に整備・令和7年度完了予定）

3. 市民の皆様へメッセージ

職名	教育長
氏名	藤岡 謙一

本年4月に教育長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。
「知っていても、好きな人にはかなわない。好きであっても、楽しんでいる人にはかなわない。」という言葉が論語にあります。学びにおいても「知る」「好む」段階から更に進んで「楽しむ」段階に至ることが大切です。どの子ども学びを楽しめるように取り組んでまいります。



職名	教育次長
氏名	藤井 和重

教育次長として4年目になります。
現在、多くの校舎が古くなり、和式トイレも多く残っています。また、学校は災害時の避難所に指定されています。少しでも快適に学校での生活が送れるよう、環境にも配慮した学校施設の改善に取り組んでまいります。



職名	教育次長
氏名	漁 修生

教員として勤務した後、県教育委員会を経て、西宮市教育委員会に勤務し5年目になります。
すべての学校園が、子供たちにとって「笑顔で通える」、保護者や地域の皆さんが「協力したくなる」、教職員にとって「働き甲斐のある」場所となるよう努めてまいります。

